

第 8 章

未病改善に関する取り組み

第 8 章 未病改善に関する取り組み

1 企画調整業務関係（再掲）

章	項目番号	項目タイトル	概 略	掲載ページ
3	3 (2)	県西地区地域・職域連携推進協議会	地域保健と職域保健の連携により、健康情報の共有並びに社会資源の相互活用や保健事業の共同実施を推進し、生涯を通じた継続的な健康づくり体制を協議するため、会議を開催し、地域での連携事業を展開した。	25
3	9	地域禁煙サポート推進事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	36
3	10	受動喫煙防止条例	「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」が平成 22 年 4 月に施行されたことに伴い、県民への普及啓発等を実施した。	36

2-1 保健福祉業務関係（再掲）

章	項目番号	項目タイトル	概 略	掲載ページ
4	1 (5)	思春期保健事業	思春期の男女を対象として、思春期に特有の身体と性の不安や悩みに対する相談に応じるとともに、学校の養護教諭と連携し思春期にある男女の心身の健全な成長を図った。	46
4	1 (6)	生涯を通じた女性の保健相談等事業 イ 健康教育	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	47
4	2 (7)	オーラルフレイル健口推進員養成事業	新型コロナウイルス感染症防止のため集合研修を実施せず、推進員活動に対する個別支援を行った。	51
4	2 (8)	健康教育	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	51
4	2 (9)	人材育成	研修の講座のテーマに応じて、講義・演習を実施した。	51
4	3 (1)	特定給食等指導事業 ウ 栄養改善普及運動事業	事業所給食施設の利用者向けに栄養・食生活に係るリーフレット・動画等を作成・提供し、未病改善を促した。	55
4	4 (4)	イ がん検診普及啓発セミナー	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	61
4	4 (5)	地域企業におけるがん検診受診促進事業	地域の企業、事業所等におけるがん検診の受診促進を図るため、既存事業を活用してがん検診受診の重要性の周知を図った。	61

2-2 保健福祉業務関係（事業）

神奈川県では、住民の健康づくりを担っている市町村と協働・連携して、地域の健康づくりを行っていくために、平成30年度に新たに保健医療活用データ活用事業を開始することとなった。

保健医療データなどを活用し、県と市町村が連携して地域課題の分析や評価を行うことで、市町村が行う健康づくり事業について、より効果的な事業展開になるよう支援するとともに、県全体の未病改善、健康づくり施策のさらなる推進を図るという目的としている。

令和3年度は、足柄上地域の市町における健康増進事業、データ活用に関する職員、県保健福祉事務所、同センターの関係職員を対象にして、2日間の地区別開催の研修とした。

	日程	内容	講師	参加者
1日目	令和4年 1月27日	【講義】 ・講演「糖尿病重症化予防のための基本と着目すべきデータについて」	雨宮内科医院 副院長 田中 翔 氏 神奈川県健康医療局保健医療部医療保険課国保指導グループ	8名
2日目	令和4年 2月21日	【演習】 ・演習「KDBを活用した糖尿病重症化予防事業の対象者抽出と目標・評価設定」	渡邊 朋也 氏	9名

3 保健予防関係業務（再掲）

章	項目番号	項目タイトル	概略	掲載ページ
5	4 (2)	エイズ・性感染症予防対策事業	正しい知識の普及啓発を図るためエイズ・性感染症予防に関するリーフレットの配布及びパネル掲示を行った。	76
5	5 (7)	難病特別対策推進事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	78
5	9 (2)	教育広報活動 ア 精神保健福祉知識の普及啓発 (ア) 精神保健福祉普及講演会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	85
5	9 (2)	教育広報活動 ア 精神保健福祉知識の普及啓発 (イ) 普及啓発週間等における普及啓発活動	一般住民に対し、自殺予防、精神保健福祉、アルコール関連問題に対する普及啓発を当所で実施した。	85
5	9 (2)	教育広報活動 イ 自殺予防対策 (ア) 精神保健福祉担当者研修会	自殺予防に資する専門の人材を育成する研修会を開催した。	85
5	9 (2)	教育広報活動 イ 自殺予防対策 (イ) ゲートキーパー研修会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	85